

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2270 号

Fluctuation of serum C3 levels reflects disease activity and metabolic background in patients with IgA nephropathy

(血清 C3 値の変動は IgA 腎症の活動性や代謝異常を有する患者背景を反映する)

鈴木 日和 (すずき ひより)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、慢性疾患である IgA 腎症患者 122 例の長期経過を観察した結果、血清 C3 値の変動には二つの意義があることを見い出している。第一に疾患活動性が高いときには消費により血清 C3 値は低下しているが、蛋白尿・血尿といった病態が改善するとともに活性化が低下している可能性がある。第二に診断時に血清 C3 値が高値の群は肥満・糖代謝および脂質代謝異常による産生亢進があり、それらのコントロールが不良のものは長期経過すると有意に腎機能が低下していた。これまで IgA 腎症患者において血清 C3 値は基準値内である症例が多く、血清 C3 の変動に着目する研究は少なかった。しかし、IgA 腎症という年余にわたって経過する疾患において、尿所見や腎機能のみならず血清 C3 値を観察し、肥満・糖代謝および脂質代謝異常などの影響を考慮することが重要で、血清 C3 値が IgA 腎症の予後を予測するマーカーの一つとなりうるということを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。